

2020年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト（日本基準）

■売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。9期連続増配へ。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
◇売上高	35,138 百万円	6.9 %
◇営業利益	5,120 百万円	8.9 %
◇経常利益	5,147 百万円	9.2 %
◇親会社株主に帰属する四半期純利益	3,460 百万円	10.6 %

損益の状況					主な増減要因	
(単位：百万円)	2020/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	前年同期比	増減率(%)	2020/3期 通期 公表値	進捗率(%)
売上高	35,138	32,877	2,261	6.9	68,000	51.7
売上総利益	9,852	9,213	639	6.9	-	-
販売費及び一般管理費	△ 4,732	△ 4,512	△ 219	4.9	-	-
営業利益	5,120	4,700	419	8.9	10,500	48.8
営業外収益	29	16	12	71.6	-	-
営業外費用	△ 1	△ 3	1	△ 51.5	-	-
経常利益	5,147	4,713	433	9.2	10,500	49.0
特別利益	2	0	2	-	-	-
特別損失	△ 4	△ 2	△ 2	-	-	-
税金等調整前四半期純利益	5,145	4,711	433	9.2	-	-
法人税等	△ 1,681	△ 1,580	△ 101	6.4	-	-
四半期純利益	3,463	3,131	332	10.6	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,460	3,130	330	10.6	6,800	50.9

■売上高
 売上高は、351億3千8百万円となり、業務の自動化・省力化を目的としたシステム基盤の更改やセキュリティ強化を目的とした仮想デスクトップ（VDI）環境の構築に加え、Windows 7のサポート終了に伴うPCリプレース案件などにも注力したことで、前年同期比22億6千1百万円（前年同期比6.9%増）の増収。

■利益
 営業利益は、51億2千万円となり、前年同期比4億1千9百万円（前年同期比8.9%増）の増益。
 経常利益は、51億4千7百万円となり、前年同期比4億3千3百万円（前年同期比9.2%増）の増益。
 親会社株主に帰属する四半期純利益は、34億6千万円となり、前年同期比3億3千万円（前年同期比10.6%増）の増益。

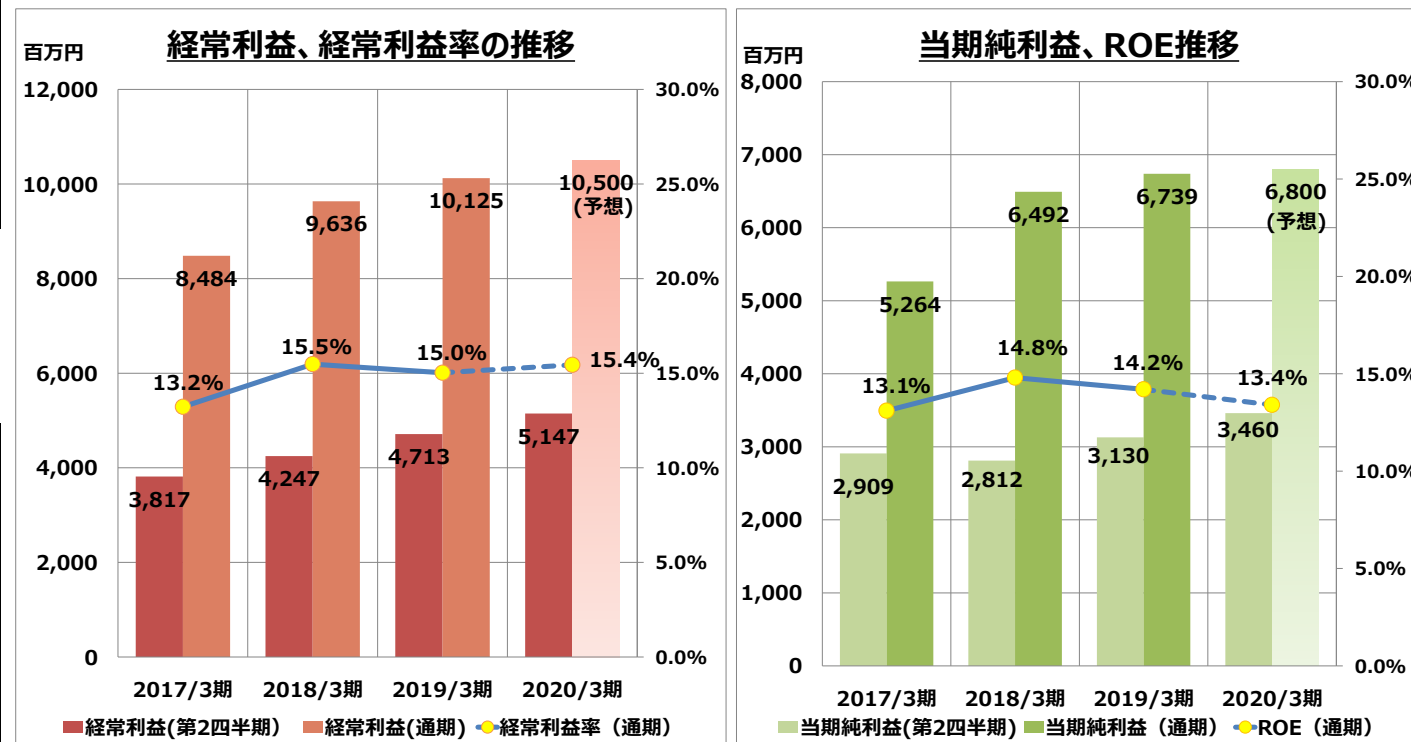
1株当たり四半期純利益（円）	121.02	109.47	11.55	10.6
----------------	--------	--------	-------	------

セグメント情報							主な増減要因	
(単位：百万円)	売上高			セグメント利益				
	2020/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	前年同期比	2020/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期	前年同期比		
システム事業	25,390	23,965	1,424	3,254	2,865	389	■システム事業 製造業や流通業向けのサーバー関連事業、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、営業利益は32億5千4百万円となり、前年同期比3億8千9百万円（前年同期比13.6%増）の増益。	■サービス・サポート事業 ストレージ関連の保守契約売上や、システム構築案件に伴う作業代収入などの増加により、営業利益は18億5千2百万円となり、前年同期比1千8百万円（前年同期比1.0%増）の増益。
サービス・サポート事業	9,978	9,180	797	1,852	1,834	18		
計	35,368	33,146	2,222	5,106	4,699	407		
その他（含む調整額）	△ 230	△ 269	39	13	1	12		
合計	35,138	32,877	2,261	5,120	4,700	419		

資産・負債及び純資産の状況					主な増減要因	
(単位：百万円)	2020/3期 第2四半期	2019/3期 通期	前期末比	増減率(%)	■資産 流動資産は、受取手形及び買掛金が16億2千8百万円増加したことなどにより、前期末比11億9千5百万円（前期末比1.9%増）の増加。 固定資産は、建物及び構築物が8億1千5百万円増加したことなどにより、前期末比9億6百万円（前期末比19.0%増）の増加。	■負債 流動負債は、支払手形及び買掛金が13億4千万円増加したことなどにより、前期末比3億9千4百万円（前期末比2.4%増）の増加。 固定負債は、資産除去債務が3億9千万円増加したことなどにより、前期末比2億6千9百万円（前期末比13.5%増）の増加。
総資産	70,272	68,170	2,102	3.1		
流動資産	64,588	63,392	1,195	1.9	■純資産 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益34億6千万円の計上による増加と、配当金20億1百万円の支払いによる減少などがあり、当第2四半期では、前期末比14億3千8百万円（前期末比2.9%増）の増加。 なお、自己資本比率は72.3%となり、前期末比0.1ptの減少。	-
固定資産	5,684	4,777	906	19.0		
負債	19,411	18,747	663	3.5	-	-
流動負債	17,142	16,747	394	2.4		
固定負債	2,268	1,999	269	13.5	-	-
純資産	50,861	49,422	1,438	2.9		
自己資本（注1）	50,804	49,369	1,435	2.9	-	-
自己資本比率（注2）	72.3%	72.4%	0.1pt減少	-		

（注1）自己資本＝純資産の「株主資本合計」＋「その他の包括利益累計額合計」（注2）自己資本比率＝自己資本／総資産

キャッシュ・フローの状況			主な増減要因 ■営業活動によるCF 売上債権が増加したことなどにより、資金の獲得額が前年同期比8億3千万円の減少。 ■投資活動によるCF 有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、資金の使用額が前年同期比8億4千7百万円の増加。	配当の状況		
	2020/3期 第2四半期	2019/3期 第2四半期			2020/3期	2019/3期
(単位：百万円)				中間配当	65 円	55 円
営業活動によるCF	1,179	2,009		期末配当	65 円(予想)	70 円
投資活動によるCF	△ 927	△ 79		年間配当	130 円(予想)	125 円
フリーキャッシュ・フロー	252	1,929		自己資本（百万円）	-	49,369
財務活動によるCF	△ 2,002	△ 1,866		配当性向（％）	54.7(予想)	53.0
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,752	61				
現金及び現金同等物の期末残高	40,059	38,143				



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。